

New Yorkta Tatar mäçete -2

Tatar keşeläreneñ tarixin beläm. Alarnıñ dönya buylap taralğanın beläm. Alarnıñ dönyanıñ törle poçmaqlarına taraluwin beläm. Tatarlarnıñ yaña cirneñ mädäniyäten bik ciñel üzläştergänen beläm. Bu minem tamırlarım. Bu cämgiyätneñ küp kenä keşeläre- amerikalaşqan tatar mädäniyäte wäkilläre. Min monda tudım häm üstem. Monda Tatarlar küp tügel. 'Min - İtalyan" yäisä "Min- İrland" kebek tügel bu. Bu bik maxsus äyber. Babalarıma gäcäyep zur ara uzarğı turi kilgän. Däw äniyem mine tiktormas dip atiy ide. Çönki min - Tatar, häm bez bik küp säyäxät itäbez. Häm Tatarlarnı böten dönya buylap tabarğa bula. İkençe Bötendönya suğışınnan soñ babalarım Tatarlar uqmaşıp yaşagän törle illärgä küçengän. Minem däw äti Brooklyn'ga kilgän. Anıñ bertuğanı Avstraliyä'gä kitkän. Abıysı Kanada'ga küçengän. Tağın berse Malayziyä'gä kitep barğan. Läkin här ildä dä alar Tatarlarnı ezläp tapqan häm köçle cämgiyät qorğannar.

Bu mäçettä comğa namazları monnan 20-25 yıl elek tuqtağan bulsa kiräk. Säbäbe ġadi. Qayçandır näq menä bu rayonda uqmaşıp yaşagän Tatarlar, tora bara kem qaysı yaqqa küçenep kitkän. Tik Älisä kiläçäktä mäçet tä, Tatar milli tormışı da canlanıp kitär digän ömettä. Bıyıl alar milli rızıqlar buyinça däreslär ütkärä başlağan. Xalıq qızıqsına. Här däres sayın kilgän keşelärneñ sanı arta ikän. Milli märkäzebez Qazan dip uylarğa küneggänbez. Ä menä bu Tatarlar öcen Qazan- yañalıq. Älisä anıñ turında Amerika Tatar Assotsiyatsiyase wäkilläre belän aralaşa başlağaç qına belgän ikän.

Qazan turında tağı da kübräk belergä telim. Bu urtaq tarixibıznıñ minem

ニューヨークのタタールモスク -2

〈アリサ〉私はタタールの人々の歴史を知っています。彼らが世界中に散らばった事を知っています。彼らが世界の色々な隅々まで散らばっていることを知っています。タタール人が新しい場所の文化をとても簡単に自分の物にした事を知っています。これは私のルーツです。この協会の多くの人々は、アメリカ化したタタール文化の代表です。私はここで生まれ、育ちました。ここではタタール人は多くありません。これは、「私はイタリア人です」や「私はアイルランド人です」のようなことではないのです。これは(タタール人に)至極特有のことです。私の祖先は非常に長大な距離を越える必要がありました。私の祖母は私をいたずらっ子(留まらない)と言っていました。何故なら、私はタタール人で、そして私たちはとてもたくさん旅をするからです。そしてタタール人は世界中で見つける事ができます。第二次世界大戦後、私たちの祖先のタタール人は集住した色々な国へ移住しました。私の祖父はブルックリンに来ました。彼の兄弟(近い親戚)オーストラリアに行きました。彼の兄はカナダに引っ越しました。もう一人はマレーシアに行ってしまいました。しかしそれぞの国で彼らはタタール人を探して見つけ、そして強力な協会を作りました。

〈解説〉このモスクでは金曜礼拝を今から20-25年前に止めてしまったようだ。理由は簡単。いつからか、ちょうどこの地区で集住していたタタール人が、次第に誰とも何処ともなく、引っ越していったのだ。しかしアリサは、将来モスクも、タタール民族の生活も活気づくだろうという希望をもっている。今年彼らは民族料理についての授業を開き始めた。人々は関心を示している。授業ごとに来る人々の数は増えているようだ。私たちタタール民族の中心は、カザンという考えに慣れているだろう。しかしこのタタール人にとってカザンは親しみのないことだ。アリサはカザンについて、アメリカ・タタール協会の代表と交流し始めて初めて知ったようだ。

〈アリサ〉私はカザンについて更に多くのことを知りたいと思っています。

gailäm tarixına ni räweşle qağılganın beläsem kilä.

New Yorkníň iň berençe mäçete bulsa kiräk, Tatar mäçete. Atlantika aryagında da, bezneň keşelär yuğalıp qalmağan. Dennären, dinnären saqlap yaňa tormışqa ayaq basqan.

この私たちに共通の歴史が、私の家族の歴史にどのような形でつながっているのかを知りたいです。

〈解説〉タタールモスクはニューヨーク初のモスクのはずだ。大西洋の対岸でも、私たちの人々は失われてはいなかった。自分たちの宗教を守り、新しい生活に足を踏みだして(てい)たのだ。

「ニューヨークのタタールモスク New Yorkta Tatar mäçete-2」<http://turkbodn.blog.jp/archives/24725026.html> より改変

内容について:

1. ロシア領内タタールスタンの放送局の番組から、ニューヨークのタタール人口コミュニティに取材が来ているという状況。
2. 祖母が私のことを「いたずらっこ」と言ったのは、訳にもあるように、tiktormas「いたずらっこ」がもともと「とどまる-不定未来形分詞. 否定」のような語構成でできているから、タタール人の「旅をしてひとところにとどまらない」という特徴とかけて言ったしゃれだろう。
3. 何回か出てくる menä bu というのは、ちょうどそのとき画面に映し出されているタタール人を指す(=注意を向ける)役割を担っている。日本語にちょうどよい語がないので「まさにこの」「ちょうどこの」「ほら、この」などと訳すことになっている。
4. 「私たちの民族中心 milli märkäzebez」というのは解説しているテレビ局側の視点であり、つまりタタール人の本拠地であるタタールスタンに住む人々のことを指している。ニューヨークやその他、世界各地に散らばったタタール人に対して使われている語彙。
5. Юлдаш Хисамов さん、修論王さんのコメントをもとに改訂(3/22)。

グロスつき本文:

Tatar keşe-lär-e-neň tarix-i-n bel-ä-m.

タタール人 人-複数-3所-属 歴史-3所-対 知る-現在-1sg

Alar-niň dönya buylap taral-ğan-i-n bel-ä-m.

彼ら-属 世界 中に 散らばる-したこと-3所-対 知る-現在-1sg

Alar-niň dönya-niň törle poçmaq-lar-i-na taral-uw-i-n bel-ä-m.

彼ら-属 世界-属 色々な 隅-複数-3所-与 散らばる-すること-3所-対 知る-現在-1sg

Tatar-lar-niň yaňa cir-neň mädäniyat-e-n bik ciñel üzläşter-gän-e-n bel-ä-m.

タタール人-複数-属 新しい 土地-属 文化-3所-対 とても 簡単に 自分のものにする-したこと-3所-対 知る-現在-1sg

Bu	minem	tamır-lar-im.						
これ	私の	ルーツ-複数-1所						
Bu	cämğıyat-neñ	küp kenä	keşe-lär-e	amerikalaş-qan	tatar	mädäniyät-e	wäkil-lär-e.	
これ	協会-属	多い	人-複数-3所	アメリカ化する-した	タタール人	文化-3所	代表-複数-3所	
Min	monda	tu-dı-m	häm	üs-te-m.				
私	ここで	生まれる-過去-1sg	そして	育つ-過去-1sg				
Monda	Tatar-lar	küp	tügel.					
ここで	タタール人	多い	否定					
“Min	İtalyan”	yäisä	“Min İrland”	kebek	tügel	bu.		
私	イタリア人	もしくは	私	アイルランド人	のような	否定	これ	
Bu	bik	maxsus	äyber.					
これ	非常に	特有の	こと					
Baba-lar-im-a	ğäcäyep	zur	ara	uza-rğा	turi	kil-gän.		
祖先-複数-1sg所-与	非常に	大きい	距離	越える-不定	必要がある-不定過去			
Däw äniy-em	mine	tiktormas	dip	atıy	ide.			
祖母-1sg所	私.対	いたずらっこ	と	呼ぶ.現在	過去			
Çönki	min	Tatar,	häm	bez	bik	küp	säyäxät	it-ä-bez.
なぜなら	私	タタール人	そして	私たち	とても	多く	旅	する-現在-1pl
Häm	Tatar-lar-nı	böten	dönya	buylap	tab-arğा		bul-a.	
そして	タタール人-複数-対格	全ての	世界	中で	見つける-不定	ある-現在.3sg		
İkençe Bötendönya suğışın-nan	soñ	baba-lar-im	Tatar-lar	uqmaş-ip	yäşä-gän	törle	il-lär-gä	küçen-gän.
第二次世界大戦-奪	後	祖父-複数-1sg	タタール人-複数	集まる-して	生きる-した	色々な	地-複数-与	移る-不定過去
Minem	däw äti	Brooklyn-ğा		kil-gän.				
私.属	祖父	ブルックリン-与	来る-不定過去					
Anıñ	bertuğan-ı	Avstraliyä-gä		kit-kän.				
彼.属	兄弟?-3所	オーストラリア-与	行く-不定過去					
Abiy-sı	Kanada-ğा	küçen-gän.						
兄-3所	カナダ-与	移る-不定過去						

Atlantika	aryağ-in-da	da,	bez-neñ	keşe-lär	yuğal-ip	qal-ma-ğan.
大西洋	対岸-3所-処	も	私たち-属	人-複数	失われる-して	留まる-否定-不定過去
Den-när-e-n,	din-när-e-n		saqlı-p	yaña	tormış-qa	ayaq
しきたり-複数-3所-対	宗教-複数-3所-対	守る-して		新しい	生活-与	足
						踏む-不定過去

所:所有人称接辞 、属:属格、対:対格、与:与格、処:処格など。格という文字を消したのですこし見にくい。

註:

0. 授業に参加できなくて悔しいので、授業のテキストを自分なりに整形したもの。
1. 複合語を示す-I も3人称所有人称接辞として記述した。
2. 動詞の名詞化・形動詞などはどうグロスを振ればよいものか、自分の中でかたまっていないので、そのつど該当する日本語をあてた。
3. 主格の表示は省略した。
4. 補助動詞-Ip bar-は完了した動作の継続を表すらしい。
5. bel-äse-m kil-ä など厳密に分解できなくても語学的に支障のないもの多くあるので、そこらへんは適宜語学によせた逐訳をしようと思う。